

SDGsの達成に向けた重点的な取組み宣言書

作成日: 令和7年10月17日

事業者名: 株式会社DAOWORKS

三側面	SDGsの達成に向けた重点的な取組み	関連するSDGsゴール (最大3つ)	実績	指標・目標		
環境	ドローンを活用したインフラ施設点検の導入や、メタバース空間活用による会社説明会開催や採用機会の創出により、移動に要していた時間や回数を削減すると共に、これまで現場までの移動により排出されていた温室効果ガス排出量の削減を行っている。	⑯パートナーシップで目標を達成しよう、⑨産業と技術革新の基盤をつくり、⑪住み続けられるまちづくりを	R6年度 港湾の1施設でのドローンを活用した施設点検導入により、現場への移動人員数(6名→2名)と移動回数(3回→1回)に削減。上記により、移動によってかかったCO2排出量を概算で約1/3に抑えることができた。	指標	「弊社が関わったドローンを活用したインフラ施設の点検回数」	
				目標	R10年度までに、R6年度比10倍以上の移動にかかるCO2排出量削減を達成する。実現の為、10件以上の点検ができるようになるとともに、より効率的にインフラ施設点検ができる仕組みの技術開発と、パートナーシップ連携を推進する。	
社会	弊社のもつデジタル技術に対する知見を活用し、地域におけるインフラ施設(橋梁や港湾施設など)の点検・維持管理の効率化に向けた取り組みを推進している。地域自治体や地域の建設コンサルティング企業と連携して、インフラ施設点検におけるデジタル技術活用や運用の効率化を進めながら、プロジェクトを推進している。岐阜においても、インフラ施設の点検や維持管理の受託実績のある、岐阜市の建設コンサルティング企業である株式会社ユニオン等とパートナーシップを組み、岐阜のインフラ施設点検に向けた取り組みを推進している。	⑨産業と技術革新の基盤をつくり、⑯パートナーシップで目標を達成しよう、⑪住み続けられるまちづくりを	R6年度 インフラ施設点検1件、パートナー企業3社 R7年度 インフラ施設点検4件、パートナー企業5社	指標	「弊社が関わったインフラ施設の点検件数」「パートナー企業数」	
				目標	R10年度までに、R6年度比10倍以上の点検件数、および3倍以上のパートナー数の獲得を目指す。これにより、デジタル技術を活用したインフラ施設点検の社会実装の拡大を加速させていく。	
経済	ドローンでのインフラ施設点検事業において、従来手作業で行っていた点検・維持管理の作業を、デジタル技術の活用を通じて、ドローン等での現場での点検による作業の効率化、また、取得したデータとAI技術を活用して、データ取得後に自動で報告書を生成する技術の開発を通じ、インフラ施設の点検や維持管理をされている建設コンサル企業にとっての業務効率化を推進していく。	⑨産業と技術革新の基盤をつくり、⑯パートナーシップで目標を達成しよう、⑪住み続けられるまちづくりを	R6年度の港湾施設点検にて、パートナーシップを組んだ建設コンサル企業における、従来点検にかかっていた目視点検に対して約30%の効率化を実現。	指標	「パートナーシップを組んだ建設コンサル企業との、ドローンを活用したインフラ施設点検の回数」	
				目標	R10年度までに、R6年度比10倍以上の点検件数を実現する。これにより、パートナーシップを組む建設コンサルティング企業にとっての作業効率化を促進する。	
ガバナンス	チェック <input checked="" type="checkbox"/>	SDGsの達成に向けた重点的な取組みが従業員に共有されており、かつ達成するための仕組みが組織内に構築されている(PDCAサイクル等)。 <具体的な内容を記載> ・重点項目については社内共有を実施している。 ・目標達成に向けたマイルストーンを作成している。 ・社内で進捗状況の把握に努めている。				
	チェック <input checked="" type="checkbox"/>	SDGsの達成に向けた重点的な取組みをホームページ等で対外的に公表している。 事務所入り口等一般の方が見える位置に掲示				